

令和4年度 鈴鹿市一般会計補正予算(第4号)について

議案第37号 令和4年度 鈴鹿市一般会計補正予算(第4号)

3億5,163万円を追加 ⇒ 補正後の総額709億9,155万2千円

1 新型コロナウイルス感染症対策に係る経費 16事業 9,323万5千円

(1) 感染症拡大防止策 13事業 8,391万6千円

(2) 生活支援策 3事業 931万9千円

2 その他の事業費の増額補正 11事業 2億5,839万5千円

感染症拡大防止策

13事業 8,391万6千円

1. 子育て支援施設での感染症拡大防止 12事業 6,260万円

感染防止用品等の購入など、感染防止に要する経費について

- ①市立保育所, 子育て支援センターなど, 公立施設の増額
- ②私立保育所, 認定こども園や放課後児童クラブなど, 私立施設への補助

2. 応急診療所での診療・検査体制の整備 1事業 2,131万6千円

- ① 医師等の医療従事スタッフや事務補助員の増員
- ② 抗原検査キットの確保

1. 私立保育所等給食費補助 647万5千円

食材費の高騰の影響を受けている私立保育所等を利用する子育て世帯への経済的支援として、私立保育所等に対して、園児の給食における食材費の物価高騰分の一部を補助する。

<対象期間> 令和4年9月～令和5年3月（7か月分）

<補助金額> 園児の食材費として実際に支出した額の内、実費徴収額（保護者負担分）を超えた額（上限額：園児一人当たり月額250円）

<対象施設数> 32園

<園児見込み数> 3,700人

<予算の積算>

250円（上限）×3,700人×7か月分=647万5千円

生活支援策

2. 高齢者フレイル予防対策事業費 195万7千円

ケーブルネット鈴鹿及びYouTubeで、ウィズコロナ下での高齢者の健康を維持するために必要な情報（運動・こころのケア）の番組を放送

- <番組名> 「まいにちやろにい～ フレイル予防」
- <放送期間> 令和4年9月1日～令和5年3月31日
月曜日から金曜日の午前・午後の1日2回で1回5分程度
- <放送内容> フレイル予防体操，鈴鹿おどり，医師のワンポイントアドバイス

3. 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事務費 88万7千円

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の申請受付期間が，令和4年6月末から令和4年8月末まで延長されたことに伴う事務経費の計上

1. 個人番号カード等交付事務費 4,392万2千円

マイナンバーカードの発行及び普及を促進するために、令和4年10月1日から以下の取組を実施

- ① **マイナンバーカード新規申請者へのギフト券配布**
マイナンバーカードの普及促進事業として、新規申請者に2,000円分のギフト券を配布する。
- ② **商業施設での交付申請窓口開設**
マイナンバーカードの交付申請窓口を、集客が見込める土・日の商業施設にて合計6回開設する。
- ③ **申請されたマイナンバーカードの郵送交付**
マイナンバーカードの滞留（未交付）を防ぐため、カード交付を本人限定郵便で行う。

その他の事業費の増額補正

2. 予防接種費／定期接種費 4,216万2千円

●HPVワクチン(子宮頸がんワクチン)の接種機会の確保事業

【事業内容】

① キャッチアップ接種

厚生労働省からHPVワクチンの接種推奨の差し控えの解除に関する方針が示されたことに伴い、定期接種の対象年齢でのワクチン接種機会を逃した方を対象に実施

<対象者>

平成9年度生まれ(本年度25歳)から平成17年度生まれ(本年度17歳)までの方

② 任意接種費用の助成

積極的な接種勧奨の差し控えにより定期接種の機会を逃した方のうち、自費で接種した方に対して、キャッチアップ接種の対象者との均衡の観点から、任意接種費用を助成

<対象者>

キャッチアップ接種の対象者のうち、定期接種を3回全てしておらず、定期接種の対象年齢を過ぎてから令和4年3月31日までに自費で接種を受けた方で、令和4年4月1日時点において本市に住所を有する方

<補助金額>

・領収書がある場合:1万7千円を上限(接種委託料を上限)

・領収書がない場合:1万3千円(薬剤費を基準)

その他の事業費の増額補正

3. 不登校対策推進事業費 113万7千円

不登校傾向のある児童に配慮した場所や自分のペースで学校生活を送ることなどができる居場所づくりとして、小学校に『(仮称)フリークラス(校内適応教室)』を開設し、支援員の配置による初期対応支援の充実

【開設予定校】 3校(牧田小学校, 桜島小学校, 河曲小学校)

【支援員】 3校に1名ずつ配置

4. 小学校施設管理費／維持修繕費 4,909万9千円

新型コロナウイルス感染症の影響により利用を休止していた小学校プールで、令和5年6月から水泳授業を再開するに当たり、ろ過機等の設備改修を必要とする小学校について、プール設備改修工事を実施

【修繕実施校】 26校(民間施設の利用が可能な小学校等を除く。)

その他の事業費の増額補正

その他 7事業 1億2,207万5千円

① 西部体育館／維持修繕費	273万1千円
② 都市対抗野球大会費	68万1千円
③ コミュニティ施設設備等購入費補助	110万円
④ 自立支援給付費／障害福祉サービス事業費	163万7千円
⑤ 人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業費補助	155万3千円
⑥ 地方道路整備事業費／汲川原橋徳田線（庄野・国府区間）2期	1億1,341万円
⑦ 通信指令費／事務費	96万3千円